

カイトソサエティ 新年イベント 2020年1月4日

○歌会始(うたかいはじめ) 於:長野高校音楽室

参加者およそ50名(現役6名含む)

1)発声指導:63期 荻原 遼

2)パート練習

3)全体練習

・「小さな空」 指揮:64期 松本 和樹

・「祖国の土」 指揮:33期 吉川 泰 ピアノ:64期 塚田 千晴

・「夢見たものは」 指揮:34期 小早川 邦彦

小さな空は、変幻自在なハーモニーが心地よく練習が楽しい。時間をかけて歌い込みたい名曲。

○新年祝賀会 於:レストランやま

参加者:31名

会費 5000円 (学生 3000円)

次第:

1)開会のあいさつ 26期 沼田 稔

2)会長あいさつ 16期 堀内 征治会長

3)演奏会・運営報告 23期 三ツ木 辰巳事務局長

4)現役合唱班顧問あいさつ 松本祐子様

5)開宴・乾杯

6)ひとこと(全員)下記参照

7)アトラクション:「夢見たものは」「大地讃頌」合唱

8)校歌合唱

9)閉会あいさつ

祝賀会でのひとこと紹介

【若手世代】

・合唱する機会を作って声をかけていただいたことが、嬉しかった。

・演奏会にこだわらなくても、歌えること自体がうれしい。仕事が大変だが、機会があれば歌いたい。

・普段歌う機会がないので、このような機会があると嬉しい。

・あらかじめ日程が分かれば、仕事の都合をつけ参加することは可能。

・カイトの仲間と歌うことが心地よく、楽しい。

・教職員は、3月が忙しい。2月だったら参加しやすい。

・非常勤講師。演奏会は夏が都合よい。また演奏会形式にこだわらず内輪でアンサンブルを楽しむだけでも良い。

・演奏会や練習への参加を呼び掛ける際、自分より下の世代に対して、どう誘ったらよいか、苦心した。

・企業勤務は、正月やお盆が集まりやすい。

・数年ごとに大きな演奏会を行ってほしい。

・大学OBOG会の演奏会が頻繁にあるので、そのノウハウを調べ、カイトに活かしたい。

・本番や、その過程の練習が楽しく、思い出に残った演奏会だった。

【往年世代】

・世代を超えて一緒に歌うのが楽しい

・8月か、9月に演奏会を行うのが良い

・若手がのびのびと活動できるようにしてほしい。したい。

・毎年2月か9月にやるのが良い。演奏会なら、有志アンサンブルをいくつかと、合同ステージをひとつとか。

・毎年、何らかのイベントを行いたい。

・夢を思い描き、語り合うところから始まる。夢はかなうもの。

以上